

### ①防災情報システム整備事業（被災者支援システム）

千葉県が県内全自治体で導入を目指している「被災者支援システム」を本市においても導入するもの。

#### システム導入のメリット

- ①デジタル技術を活用した業務の効率化・迅速化
- ②住家被害認定調査機能の活用による応援体制の強化

⇒迅速かつ的確な被災者支援の実現

#### 期待される効果

- 被害認定調査の迅速化
  - …従来の紙での調査及び被害割合計算のシステム化
- 罹災証明書発行の迅速化
  - …調査、判定から被災者台帳の管理までを統合的にシステムで管理
- 円滑な応・受援体制の構築
  - …共通システムの導入による、自治体間での応・受援体制の円滑化の実現

⇒被災者の一日も早い生活再建を支援

#### 今後の予定

令和8年3月 令和8年県と導入市町村と協定締結  
 4月 県がNTT東日本と一括契約  
 7月 システム稼働（予定）

#### 事業費

【歳出】被災者支援システム利用負担金  
 4, 107, 000円

#### フロー図

### ②災害対策本部整備事業（ドローン）

災害発生時における被害状況の迅速な把握と安全な情報収集等を行うことを目的に、災害対応に活用できる機体を整備し、ドローン運用体制を構築するもの。

#### 主な活用方法

- 被害状況把握 : 河川氾濫など被害状況の早期把握
- 情報収集・伝達 : 高所から広範囲の情報を安全かつ迅速に情報収集
- 復旧支援 : 被害を受けたインフラ施設の復旧支援

#### 期待される効果

- 被害状況の迅速な把握による初動対応の迅速化
- 職員の危険な現場立入の最小化
- インフラの早期復旧



#### 事業費

【歳出】ドローン購入費用 2, 000, 000円

#### 災害時以外の活用

- 市川市の魅力を発信する広報動画等の撮影
- 防災訓練において、協定締結事業者等との連携活動訓練《今後の活用》
- 橋梁、道路、下水道管、高い建物等の点検 など

